

Q 安心・安全に暮らせるまちづくりについて

A まちかど防犯カメラ設置事業を新たに進め、犯罪のないまちづくりを推進していきたい

飯沼 満 議員



犯罪のない安心で安全なまちづくりを実現するために、行政や警察等と連携した地域住民による防犯活動を推進していくことは、非常に有効な取り組みであると考えます。

- こうした活動を補完するものとして、防犯カメラの設置・増設は、犯罪の抑止効果をはじめ、犯罪の捜査、また、行方不明者等の早期発見に大きな効果があると考えますが、以下の点を問う。
- (1) 神戸町における直近3年間の犯罪件数並びにその内訳は。
 - (2) 現在、補助事業として行っている「各区への防犯カメラ等設置事業補助金」の活用実績と設置に対する課題は。
 - (3) 公共施設や学校等に設置した防犯カメラの実績は。
 - (4) 町長のマネーフエス

ト、政策の柱のひとつである「明るい街並みの防犯対策」として「まちかど防犯カメラ設置事業の導入」を掲げているが、今後の整備予定はどのように考えているか。

A 町長

- (1) 神戸町で発生した刑法犯認知件数は、令和2年は61件、令和3年は73件、令和4年(11月末まで)は57件で、この3年間ほぼ横ばいの数値となっている。
 - (2) 事業開始から現在までの活用実績は、5つの自治会が11台のカメラを設置している。また、課題としては、個人住居が撮影範囲に含まれる場合、その住居者の同意を得ることが必要となる点が挙げられる。設置場所が公
 - (3) 役場庁舎をはじめ、各幼稚園や小・中学校等、17の施設で合計77台を設置している。
 - (4) 整備予定は、まず第一歩として、小・中学生の通学路を中心に、交通量の多い幹線道路沿いなどへの設置を検討している。
- 今後、既存の各区における防犯カメラ等設置事業と合わせ、本事業により、犯罪のないまちづくり、町民の皆さまが安全で安心して暮らすことができる、このまち創りを推進していきたいと考えている。

Q ばらタク事業の拡充の考えは

A 課題や財政負担等を考慮し、

安心して利用できるよう制度設計を検討していく

林 利雄 議員

町長の公約である「ばらタク」事業の拡充に向けての検討について尋ねる。

(1) 2社のタクシー会社があるが、1日に何台ほどが稼働できるのか。

(2) ばらタクは町内移動しかできず、繁忙期や時間帯によっては売り上げにも影響すると思われる。タクシー会社は一般客を優先し、ばらタク事業を後回しとしている対応となっているのではないのか。

A 町長

(1) 1日の稼働台数は、各事業所あわせて、町内に常時8台ほどの車両が待機しており、混雑時は近隣市町の待機所に配車申請している。

(2) 一般客とばらタク利用者への対応については、顧客サービスの観点から、分け隔てなく適切な対応をしている。この回答を受けている。

(3) 現行の制度では、利用範囲を町内に限定してご利用いただいているが、町外の総合病院などへ通院されている方も多く、町外への範囲拡大について多くの要望が寄せられている。こうした要望を踏ま

え、現在、利用範囲拡大の可能性について、タクシー事業者と協議を進めているところで

あり、様々な課題や財政負担等を考慮しながら、利用者が安心して利用できるよう、制度設計を考えている。

Q 町長の公約である「通学路の安全確保」について尋ねる

(1) 通学路において交通事故や不審者出没の場所を把握していると思うが、そのような危険個所にこれまでどのような対策を講じてきたのか。

(2) 「子ども110番の家」設置のかたがたや学校安全サポーターの

かたがたからの意見や問題点などの対応策は構築されているのか。

(3) 公約の「通学路の安全確保」についてどのように考えているのか。

A 教育長

(1)、(2)及び(3) 関係機関が連携協力して通学路の安全点検を行い、「神戸町通学路交通安全プログラム」を策定して

いる。地元区長をはじめ「子ども110番の家」を依頼しているかたがたや、学校安全サポーターからも随時情報をいただき、必要な対策を取りまとめている。

具体的には、ガード

パイプやカーブミラーの設置、カラー舗装の施工、外側線の引き直し及び注意喚起看板の設置等、現場の状況に即して対策を実施している。

また、不審者情報についても、情報が入った時点で直ちに保護者や学校安全サポーターへメールで情報提供

し、必要に応じて警察へパトロールを依頼している。

今後もし引き続き、関係機関の意見を参考に、実施可能性、有効性及び緊急性を総合的に判断し、必要性の高い個所から順次対策を着実に実施していきたいと考えている。



Q 「エコプラザごうど」移転・改築の構想は

A 「廃棄物減量化等推進協議会」を招集し、協議・検討を行う

小川榮一 議員



(1) 藤井町長の公約である「エコプラザごうど」(以下、エコプラザ)の移転・改築の構想はどこまで進んでいるのか。

(2) 新しいエコプラザは、資源ゴミ回収体制の充実に加え、情報発信や環境学習の場としてSDGs推進の施設にしていく必要があると考えるが、新しいエコプラザのコンセプトについてどう考えているか。

A 町長

(1) エコプラザは、循環型社会の形成を推進するため、資源ごみの直接搬入施設として、平成19年に環境ボランティア団体「エコネットごうど」と行政の協働により運営が開始され、平成21年からは現在の中央公民館北駐車場に移転し、多くのかたに利用されている。しかしながら、エコプラザへの搬入は、自家

用車が大半を占めており、利用者増加に伴って分別作業に一部支障をきたすなど、敷地や施設の規模が十分確保されているとは言えない状況である。こうした中、エコプラザの移転・改築にあたっては、その前段階として来年度(令和5年度)に「一般廃棄物処理基本計画」の改定に着手したいと考えている。

この計画は、ごみの排出抑制、再資源化、及びごみの発生から最終処分に至るまでに必要な基本事項を定め、施設の位置、規模の方向性を示すもので、基本計画のなかに移転・改築等の方向性を盛り込みたいと考えている。

(2) 「一般廃棄物処理基本計画」の改定にあたっては、識見を有するかた、環境団体の代表者、住民組織の代表者等で構成する「廃棄物減量化等推進協議

会」の委員を招集し協議・検討を行うこととしてしている。
この協議会において委員から広く意見を求め、さらに、住民アンケートやパブリックコメントを実施し、持続可能な社会の実現に向けて、適切な目標の設定と効果的な施策の構築を決定したいと考えている。

議会の動き (11月~1月)

11月

- 16日(水) 議会運営委員会
- 21日(金) 全員協議会・第7回臨時議会
議会改革特別委員会

12月

- 5日(月) 第8回定例会開会
- 7日(水) 民生文教常任委員会
- 8日(木) 総務建設常任委員会
- 14日(水) 第8回定例会再開(一般質問)
- 15日(木) 第8回定例会再開(議案審議)
全員協議会

1月

- 11日(火) 広報編集特別委員会・議会運営委員会
- 18日(水) 広報編集特別委員会
- 19日(木) 全員協議会・第1回臨時議会



3月定例会のお知らせ

☆会期の日程

- 3月 6日(月) 開会、議案の説明
- 3月 15日(水) 一般質問
- 3月 16日(木) 議案の審議

☆場所

役場3階 議場

☆時間

午前9時30分から



消毒液による手指の消毒及び
マスクの着用にご協力ください

第1回臨時議会

令和5年第1回臨時議会は、1月19日(木)に招集され、1日の会期で行われた。補正予算の1議案について審議し、原案のとおり可決して閉会した。

一般会計予算は、2350万円が追加され、69億4050万円となった。

歳出の主なものは、国が創設した出産・子育て応援交付金事業の関係経費1200万円である。この交付金事業は、出産応援給付金として妊娠届の提出時に5万円、子育て応援給付金として、出生届出後に5万円給付するものである。

ほかに、消防団第1分団の小型動力ポンプ積載車の購入費1150万円である。

歳入の主なものは、国庫補助金と前年度繰越金の一部などが充てられた。

ふるさと再発見



祭りでにぎわっていた頃の住吉燈明

今回の表紙は、神戸町川西にある住吉燈明です。昔、この辺りは大橋と呼ばれ、大正2年7月に養老鉄道が開通し、広神戸駅ができるまでの川港でした。神戸の商人が共同社という組合を作り、大橋を起点として遠く名古屋・四日市・知多の方まで商いの道を広げて活発に取り回していました。それに従事した船頭たちが船旅の安全を祈念して寄進したものです。燈明は花崗岩でできており、ご神体は伊勢大神宮です。

当時の平野井川は、こんこんと湧き出る豊富な美しい水が流れ、水深もずいぶん深かったそうです。神戸からは雑穀・竹細工(いわしかご)などを出荷し、土管・魚肥などが買付けられていました。そのため、旅館・商店などがあり、かなりにぎやかでした。鉄道の開通とともに川港の必要はなくなりましたが、近所のかたがたが長年大切にお世話をされ、現在も当時の名残りをとどめています。

※「美濃神戸ふるさとの暮らし」の船着き場(住吉燈明)より